

週報

こひつじ

第40巻 19号
 大津キリスト教会
 菊池郡大津町室 119
 TEL 096-293-4470
 FAX 096-293-4961
 牧師 米村 英二

導かれる神

その二 すべてを任せる

したがってわれわれの前には二つの人生がある。自分で切り開く人生と神に導かれる人生とが。

両者の違いは何か。前者には恐れがあり、後者にはそれがないということだ。

もし神が、「あなたの人生を私に任せよ。私
 があなたの人生を導こう」と言っ

てくださるなら、どんなに安心だろう。神が全責任を負ってくださるというのだから。

だから神に導かれる者に語られる神の言葉は常に、「恐れてはならない」

である。

しかしどうしても自分で道を選ぶとすると、神はその人に言われるだろう。

「おまえの好きにするがよい」
 しかし、その道には必ず恐れが伴う。自分で責任を負わなければならないからである。

神がエレミヤを預言者として召されたとき、彼は言った。

「ああ、神、主よ。ご覧のとおり、私はまだ若くて、どう語っていいかわかりません」（エレミヤ書一六）

すると、主は彼に仰せられた。「まだ若い、と言うな。わたしがあなたを遣わすどんな所へでも行

き、わたしがあなたに命じるすべての事を語れ」（同七）

このときエレミヤは神に導かれるか、それとも自分の道をゆくかの分岐点に立っていた。もし導きに従うなら、神は約束して言われる。

「彼らの顔を恐れるな。わたしはあなたとともにいて、あなたを救い出すからだ」（同八）

このように神に導かれる人生の特徴は、恐れがないということである。

しかし自分の道を歩もうとするなら、恐れは避けられない。

教会の責任が牧師である自分にあると思うと、苦しくなる。そんなとき私は、ローマ司教の次の話を思い出す。

彼は、最高会議であるバチカン公会議の前日に、不安で眠ることができなかつた。重大な決定を控え、彼の意見に反対する者が多かつたからだ。

そこで彼は、神の摂理にすべてをゆだねようと決意する。そしてユーモアをもって自分にこう言うのである。

「ジヨバンニよ。どうしておまえは眠れないのか。教会を治めているのは、あなたか、それとも聖霊か。聖霊ではないか。では、ジヨバンニよ、眠るとしよう」

そこで私も言ってみる。「大津教会のほんとうの牧者は、あなたか、それともキリストか。キリストではないか。では眠るとしよう」

すると私の心も軽くなるのだ。このように、神に導かれる人生とは、神にすべてをお任せする人生だと言える。

何年前か、イギリスとオランダを旅行したときのことだが、アメリカに住む娘家族とアムステルダムで合流することになった。そこで旅行の計画はすべて夫のステイブンに頼むことにした。

妻は、出発前に念を押すように私に言った。

「いいわね。旅行中は、全面的にステイブンに従うのよ。彼がガイドなのだから」

これまでの私の独断的傾向を戒めてのことだったのだろう。しかしステイブンのガイドは

完璧だった。宿もフェリーも、レンタカーも前もって予約されてお
り、旅行中の運転もみな彼がやっ
てくれた。私はただついてゆくだ
けでよかったのだ。
それは何と楽な旅行だったこと
か。

以上二つを実行するならば、
あなたは、すでに幸福になり始め
ているのだと。
不安な思いがやってくると、私
はいつもそこに戻るのである。

(続)

今日の礼拝

神に人生のすべてを任せ、神に
導かれるとは、そういうことなの
ではないか。

第一礼拝は午前10時から、
第二礼拝は午前11時から、
教会学校は午前10時から。
説教は岩崎宏志さん。

○第一礼拝は午前10時から、

○第二礼拝は午前11時から。

○教会学校は午前10時から。

○説教は岩崎宏志さん。

先週の礼拝

「なにごとが起ころうと、すべて
は神のみ手から授けられるものと
信じ、もはやいろいろと思わず
らうことなく、ただ開いた門を通
って行くならば、その人の人生は
すでに幸福になりはじめたのであ
る」

司会は宮元隆博さん、奏楽は吉
岡隆夫さん。説教は第一サムエル
記一六の七から、「心の人、ダビデ」
と題して話しました。しばらくは
ダビデ伝が続きます。

一、何が起ころうと、すべては
神のみ手から授けられるものと信
ぜよ。

先週の出席

二、ただ自分の前に開かれた道
を歩んでゆけ。

第一礼拝が五一名、第二が二八
名、合計七九名(男二八、女五一)。
それに子どもが四名、合わせて八

消 息

○五月二日(日)野口裕治さ
んの妻訓子さんが来会。野口さん
は本田技研の大津工場から、二四
年前に転勤、三重工場を経て、東
京青山の本社に長く勤務し、この
たび大津工場に戻ってこられました。
訓子さんは、子どもたちの教
育のため、あと三年は東京に住む
ことになるそうです。東京と大津
を往復することになるので、大津
の礼拝にも顔をだせるようになる
だろうと語ってくださいました。
懐かしい方たちとの再会はうれし
いものです。

二〇二三年度の伝道報告

一、礼拝出席

礼拝出席者数の平均〓八二名
(男〓一八、女〓五四)

受洗者〓古谷良司さん

三、活動

CSピクニック(四月)参加者
二三名(子供九名、大人一四名)。
(七月)参加者二三名(子供七名、
大人一六名)。ユースキャンプ(一
〇月)参加者約三〇名。ゲストは
岩崎義幸牧師(日野キリスト教会)。

四、文書事業

『現代に生きるイエスの教え』
出版。週報『こひつじ』三八巻合
本の作成。

五、牧師の出張

北海道(CFNJ聖書学院)、大
阪(ニューライフ)、静岡(関連教会
牧師会)。